

ダイアボンド DW847

ダイアボンドDW847は、アクリル系エマルジョン形粘着剤です。

§ 特長

1. 乾燥皮膜は、無色透明です。
2. 中粘着力タイプです。
3. 再はく離用に最適です。

§ 一般性状

主 成 分	アクリル樹脂
外 観	乳白色エマルジョン
不 揮 発 分 (%)	49 ± 2
粘 度 (mPa·s) at20℃	15,000 ~ 25,000
p H	6.5 ~ 8.5
保 証 期 間 (月) at25℃	6
標 準 荷 姿	17 kg, 200 kg

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 転写方式です。
3. 乾燥方法 粘着剤塗布後、100℃で2分間乾燥します。
乾燥は塗布皮膜が透明になるようにして下さい。

§ 接着性能

1. 粘着力	4 N/25mm (180度はく離, 対ステンレス板 SUS304, 300mm/分)
2. 粘着性	20 (J.Dow 法, at20℃)
3. 保持力	60分-0.2mm (at40℃, 死荷重 10 N/20×20mm ² , 対 ステンレス板SUS304)

基材：ポリエステルフィルム 25 μ, 塗布量：25 μ (dry), 乾燥：100℃×2分

*硬化剤を使用すると、粘着力が低下し、再はく離性が向上します。

§ 硬化剤量と性能

	主剤 1kg に対する硬化剤量 (g)			
	0	5	10	15
粘着力	4.0	3.0	2.5	1.8
粘着性	20	18	18	17
保持力	0.2	0.0	0.0	0.0

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくして下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 器具の洗浄は、使用后直ちに行ってください。乾燥皮膜は、酢酸エチル、MEKなどで洗浄して下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 水性の為、被着材及び施工法によっては錆が発生する可能性がありますので、十分な確認試験をお願いします。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。